



野生植物研究所だより



● あじ朗志組・島の大清掃大作戦 ●

【大清掃大作戦1日目】

丁度台風17号が接近してきた9月24・25日。この両日、網地島(旧牡鹿町)で「あじ朗志組・島の大清掃大作戦」というイベントが開催されました。参加費は一人3000円(食事代・宿泊費・保険料込)。島の住民らで作るコミュニティ再生組織「あじ朗志組」と島外からのボランティアによる遊歩道造りが行われました。当研究所所長もボランティアとして参加してきました。清掃大作戦があったのは島の北西部にある網地浜地区。倒木や雑草におおわれた昔の里道は通行できなくなっていました。住民が倒木を切り払い、ボランティア参加者が雑草等を片付け、荒れ果てた里道を復旧させていきました。今後地区では海岸沿いの遊歩道として整備をしていくそうです。24日の夜は島内の宿泊施設「島の楽校」に集まり、アワビやクジラなどの郷土料理を味わい、ビールを飲みながらの懇談は夜遅くまで続きました。「あじ朗志組」の白岩準司さん(73)は、「ボランティアの参加は住民にとってよい刺激になる。遊歩道が人が通るようになれば、アワビの密猟防止にも役立つ。」と期待していました。



網地島は今・・・過疎(島民約500人)と高齢化(高齢化率約7割)が深刻な網地島では網長小学校・網長中学校はすでに廃校になり、島では元気に遊ぶ子供たちの姿を見かけることもありません。また、一人暮らしの高齢者が多く、今後10年で島はどうなるのかとても心配な状況です。島には、島の方々と栃木県の医療法人との交流で生まれた「網小医院」(網長小学校を改築して病院とし、名称も網長小学校からとっている。県内の離島では唯一、手術ができるほど内容が充実している)があり、島民の命を守っています。網地島の厳しい環境を鑑み、島の方々とともに地域の振興を図るため、昨年に引き続き、「あじ朗志組」の事業が企画されました。・・・



【大清掃大作戦2日目】

25日はあいにくの雨で作業は中止になり、8時過ぎには台風が近づき波がでてきて、定期便は欠航。そのようなわけで、全員チャーターした臨時船で鮎川に渡りました。午後に解散の予定が、9時30分には鮎川に着き、解散となりました。今回の「あじ朗志組」の企画は本当に素晴らしいものでした。

● 栗のイガのついた木に花が咲きました ●

【栗のイガと栗の花が！！】

研究所の畑の脇にあるシバグリ。その栗の木は150個位のイガが口を開けはじめています。そしてそのイガのついている枝の先端には長い穂の雄花が咲いているのです。8月中旬に雄花の花芽と雌花を見つけました。花が咲くのを期待して見てきました。9月5日に雄花が咲き始めました。まだ軟らかいイガのついた雌花も見られます。秋に栗の花を見るのは初めての事です。



今後どのような形で終わるのか？ また、来年も栗の花が咲き、栗の実をつけるのか大変興味のあるところです。今後も観察を続けて来年の夏頃に、またこの栗の木の報告ができればと思っています。